

●バッテリーを正しく管理しよう

なぜ？

一般的に、農業機械は作業する季節しか使われないので、バッテリーの管理が不十分になりがちです。このことが原因で時折事故が発生します。正しく管理しましょう。

ヒヤリ、事故

1. バッテリー液補給時に端子のねじと側にあったスパナが接触し、爆発した。
2. バッテリー充電中に、爆発して硫酸や金属の破片により両目を負傷した。
3. コンバインのバッテリーを交換しようとしたところ、手が滑って足に落とした。

そこで…

対策ポイント

1. バッテリーの交換



- ・工具の置き忘れに注意します。
- ・端子が機械に触れないようにします。

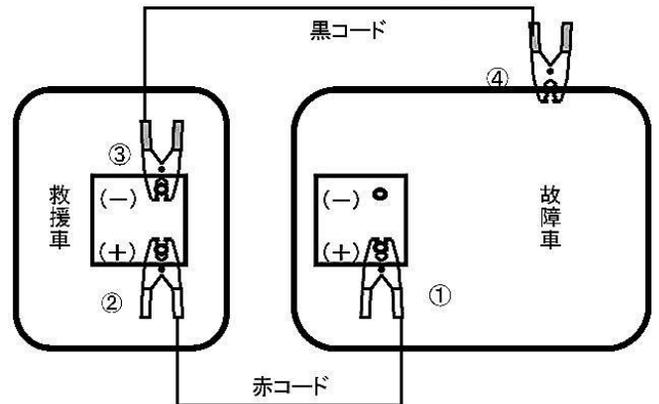
2. バッテリーの保守・点検

- ・バッテリーの液面がUPPERとLOWERの間にあることを確認します。
- ・LOWER以下での使用は危険です。LOWERに近い場合は補水します。

- ・補水液は精製水以外は入れません。
- ・UPPER以上まで補水しないで下さい。
- ・バッテリーの表面は、水で濡らした布で拭きます。
- ・バッテリー取付金具・端子の取付が緩んでいないか確認します。

3. バッテリーが上がった時は…

1) ブースターケーブルの使用



- ・④の接続はバッテリーから離れたエンジン本体・フレームに接続します。

2) 充電器による補充電

- ・充電器添付の取扱説明書に従い、正しい手順で行います。
- ・保管中でも自己放電しますので、各バッテリーの取扱説明書に従い、定期的に補充電を行ってください。
- ・充電中は液口栓を開けておきます。
- ・充電の際は室内を換気してください。
- ・バッテリーは使用に伴い、容量が徐々に低下します。補充電を行っても性能が回復しないものは寿命です。

さらに!

追加のヒント

危険

1. 火気を近づけない。
(バッテリーから水素ガスが発生するので、引火爆発の原因となります。)
2. 密閉された場所で使用しない。(引火爆発の原因となります。)
3. バッテリー液は希硫酸なので、取扱いに注意する。
(目に入ると失明、皮膚に付くとやけどする恐れがあります。衣服や器物に付くと損傷する恐れがあります。付着した場合には、多量の水で洗い流します。取扱い時は保護メガネ、ゴム手袋を着用します。)

警告

1. バッテリーを乾いた布などで清掃しない。
(静電気による引火爆発の原因になる恐れがあります。)
2. バッテリーの液口栓の排気孔はふさがない。
(破裂の原因になる恐れがあります。)
3. さかさま・横倒し・傾け、落下や衝撃禁止。
(バッテリー液で失明ややけど、衣服損傷の原因になる恐れがあります。)

注意

1. バッテリーへは補充液(精製水)以外は入れない。
(不純物を入れた場合、発熱、発火、有毒ガス発生の原因になる恐れがあります。)
2. バッテリーに直接電気機器を接続しない。
(配線が焼損し車両火災の原因になる恐れがあります。)
3. 使用済みバッテリーはそのまま廃棄しない。
(そのままにすると、事故の原因になる恐れがあります。新しいバッテリーを購入された販売店に処理を依頼します。)